

そのきらびやかなウィーン舞踏会の世界  
一世紀半の時を経て甦る宮廷のロマンティシズム

NEW YEAR 2012

# ウィンナー・ワルツ・オーケストラ

## ～宮殿祝賀コンサート～

ポルカにワルツにオペレッタ。

胸躍るシュトラウスの音楽に、華麗なるダンス、気品高き歌声。

本場ウィーンを彩る祝賀コンサートが待望の再来日!!

お馴染!  
大好評のニューイヤー  
コンサート!!

### 予定曲目

- 美しく青きドナウ
  - ラテツキー行進曲
  - 喜歌劇「メリー・ウイドウ」  
より“ヴィリアの歌”
  - 南国のバラ
  - こうもりのかドリーグ
  - 雷鳴と電光
- 他多数

※曲目は変更する場合がございますが、予めご了承ください。



指揮者: サンドロ・クトゥレーロ

2012

# 1/7

(土)PM1:00開演 愛知県芸術劇場コンサートホール

主催: 中京テレビ放送

協賛: 株式会社 イノアック コーポレーション

一般発売 10/7(金) AM 10:00 ~

S ¥6,500 A ¥5,000 B ¥4,000 学生¥3,000 (税込)

お問い合わせ  
お申込み 中京テレビ事業 052-957-3333

〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F(月~金 AM9:30~PM5:30 / 土・日・祝日休業)  
ご希望の方は往復ハガキに、希望公演名、公演日時、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学籍番号を明記の上、中京テレビ事業「学生券」係までお申込み下さい。公演の3週間前に抽選の上、お席をお取りできるか否かご連絡致します。往復ハガキ1枚につき、1公演1名様でお願い致します。

※未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。※出演者・プログラム内容等変更になる可能性がございます。予めご了承ください。

★ WEBでも受付! ★

中京テレビ事業 検索

<http://cte.jp>

チケット発売所

チケットぴあ (Pコード:148-992) 0570-02-9999

ローソンチケット (Lコード:45289) 0570-084-004

愛知芸術文化センターPG 052-972-0430

栄プレチケ92 052-953-0777

イープラス eplus.jp、 中日SC 052-263-7282

セブン-イレブン店頭(セブンコード:013-093)他 有名プレイガイド

# ウィーン舞踏会を感じさせる軽やかな旋律。 軽快なリズムが、爽やかな風と共に新春の悦びを誘う。

「ニュー・イヤー・コンサート」の定番、お馴染みの『ラデツキー行進曲』(ヨハン・シュトラウスI世)の音楽が威勢よく流れ始めると、観客は一斉に手拍子で演奏に参加する。それは「お約束の……」という、半ば強制的な手拍子ではなく、それまでのコンサートプログラムの楽しさがなせる技で、心からの自発的な「演奏参加」であることはみんなが知っている。——2012年の新春も、「ウィンナー・ワルツ・オーケストラ」の楽しい、そして豪華な「ニュー・イヤー・コンサート」が再び、やってくる。

エンターテインメントのツボを心得た名物指揮者のサンドロ・クトゥレーロが毎回工夫を凝らし、観客を楽しませてくれる、この「ニュー・イヤー・コンサート」はひと口で言って「聴いて楽しく、見て楽しい」コンサートだ。13年連続となる来日は根強い人気の証。オーケストラ演奏だけでなく、気品溢れる歌あり、バレエダン

サーによる踊りありという「お楽しみ満載」は、毎回グレードアップしてわれわれを魅了する。

プログラムは団体名通りにウィンナー・ワルツ中心主義で、それに賑やかなポルカやマーチが加わるのだが、娯楽性に富みながら、ところどころに、クトゥレーロが「日本のみなさんに、是非、紹介したい」というかくられた名曲が入っているところも人気の秘密。なかなかに凝ったプログラムで「純粹ウィンナー・ワルツ・ファン」も唸らせるのだが、それでいて小難しくなく、だれもがリラックスして楽しめるのは、クトゥレーロの考え方によるものだ。

目前できらびやかなウィーン舞踏会が展開しているような気分になるこのコンサートは、会場にいる誰もが「2012年もいいことがありそう」と同じ気持ちになれるひとときだ。

**新年に幸せを呼ぶ、クラシック界の名物アンサンブル。**

**2012年の「ニュー・イヤー・コンサート」は『ウィンナー・ワルツ・オーケストラ』で!**

## 指揮:サンドロ・クトゥレーロ



イタリア生まれ。ローマのサンタ・チエチーリア音楽院及びウィーン音楽大学の指揮科を卒業。ピアニスト兼指揮者としてウィーンに本拠地を置き、ヨーロッパ各地を中心に、海外からの招待も数多い。1998年5月には、オーストリアとイタリアから優れた芸術家に贈られる文化勲章が授与された。美しいアンサンブルと個性豊かな表現力には定評があり、ウィンナー・ワルツにおいてはエンターティナーとしても評価されている。

## ソプラノ:リヴィア・ガランボシュ



ハンガリー生まれ。幼い頃よりヴァイオリン、ピアノを学び、声楽は高校生のときに始める。ベルジェニ・ダニエル大学で研鑽を積み、その後ブダペストのフランツ・リスト音楽院に招待される。同音楽院卒業後、ハンガリー国立歌劇場で行われたオペレッタ『こうもり』アデーレ役で舞台デビューを飾り、ヨーロッパ各地で歌い活躍している。

## ウィンナー・ワルツ・オーケストラ

「ウィンナー・ワルツ・オーケストラ」は、日本でもすっかりお馴染みのサンドロ・クトゥレーロにより、宮殿での祝賀コンサートを機に設立された。クトゥレーロ氏の“ワルツへの愛と情熱”に賛同した才能溢れる演奏家が彼のオーケストラに参加。ウィンナー・ワルツのルネッサンス(復興)をモットーに、シュトラウスのウィンナー・ワルツを最高の形で観客の皆様にお届けすることを目指している。

オーケストラは約25名の弦・木管・金管・打楽器により構成さ

れ、さらに曲によって数名のバレエ・ダンサー、歌手が登場し、楽しい踊りと美しい歌声が雰囲気を盛り上げ、ウィンナー・ワルツをより楽しませてくれる工夫がなされている。

「ウィンナー・ワルツ・オーケストラ」は、シーンの優れたシュトラウス・アンサンブルの一つに数えられ、観客の多くがウィーン情緒たっぷりのこの公演を楽しみにしている。多種多彩な演出も楽しみのひとつであり、過去12回の来日公演も大好評を博した。